

PHILIPS

イヤホン

4000 シリーズ

TAT4556



取扱説明書

コンテンツ

1	安全上のご注意	2
	聴覚への影響	2
	一般注意事項	2
2	お使いのイヤホンについて	4
	付属品	4
	その他のデバイス	4
	製品概要	5
3	はじめに	6
	バッテリーの充電	6
	初めてイヤピースをBluetooth対応 機器とペアリングする場合	6
	イヤピースを他のBluetooth対応 機器とペアリングする場合	7
4	イヤホンの使用	8
	イヤホンをBluetooth対応 機器に接続する場合	8
	ANC(アクティブノイズキャンセリング) のコントロール	8
	電源オン/オフ	9
	通話と音楽の管理	9
	充電ケース	9
	LED表示のステータス	9
	音声アシスタント	9
	装着方法	9
5	イヤホンのリセット	11
6	製品仕様	11
7	通知	12
	適合宣言	12
	使用済み製品とバッテリーの 廃棄について	12
	EMF対応について	12
	環境への配慮	12
	対応基準について	12
8	商標	14
9	よくあるご質問	15

1 安全上のご注意

本製品をご使用頂く前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害や事故を未然に防止するためのものですので、下記内容を必ずお守り下さい。お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚡ 危険

この表示は、「取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの」を示しています。

⚠ 警告

この表示は、「取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性があるもの」を示しています。

⚡ 危険

- ・ イヤーピースを使用する場合は、必ず次のガイドラインに従ってください。
 - ・ 本機を使用するときは音量を上げすぎない。耳を刺激するような大きな音量で長時間使用すると聴力に悪い影響を与えることがあります。
 - ・ はじめから音量を上げすぎない。
 - ・ 肌に異常やかゆみを感じた場合は使用しない。
 - ・ 使用中に気分が悪くなったなら、使用を中止する。本製品を耳から外してください。
 - ・ イヤーピースはしっかりと取り付ける。イヤーピースが外れて、耳の中に残るとけがや病気の原因となることがあります。
- ・ 道路交通法に従って安全に運転する。自動車、バイク、自転車を運転中に本機を使用しないでください。また、歩行中、交差点や踏切、駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。事故の原因になります。
- ・ 本製品を湿気、ほこり、油煙の多い場所、暖房器具の近く、直射日光の当たる場所や車内など高温の場所で使用、保管、放置しない。

⚠ 警告

- ・ 分解や改造をしない。火災、感電、けが、または故障の原因になります。
- ・ 本機を過度の熱に当てない。
- ・ 本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。
- ・ 充電には認可された輸入業者等が明記されたUSB充電器DC5V1Aのみお使いください。
- ・ 本製品を水没させない。
- ・ めれた手で触れない。感電やけがの原因になります。
- ・ 本機を布団や布などで覆わない。発熱や発火の原因になります。
- ・ 本製品に水や異物を入れない。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
- ・ アルコール、アンモニア、ベンジン、または研磨剤を含むいかなる洗浄剤も使用しないでください。掃除が必要な場合は柔らかい布を使用し、必要場合は最低限の量の水または薄めたマイルドな石けんで湿らせて本製品を掃除します。
- ・ 航空機内で使用する場合は、航空会社および客室乗務員の指示に従う。電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
- ・ 自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない。電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
- ・ 病院など使用を禁止された場所で使用しない。医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。
- ・ 本機を医療機器の近くで使用しない。機器が発する電波により心臓ペースメーカーや除細動器などの医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- ・ 高精度な制御や微弱な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。
- ・ 誤って飲み込まないように、幼児やペットが触れる場所に置かない。本機にはリチウムイオンバッテリーが内蔵されているため、飲み込むと事故につながるおそれがあります。飲み込んでしまった場合は、速やかに医師の診断を受けてください。本機を使用していないときは、充電ケースに入れて蓋を閉め、幼児の手の届かないところやペットが触れない場所に保管してください。
- ・ メーカー純正品または推奨品ではない電源アダプターや充電器を使用すると、火災や怪我などの原因となるおそれがあります。
- ・ 破損した状態で使用したり、改造したりしない。破損した状態のバッテリーや改造したバッテリーを使用すると、火災や破裂の原因となり、

怪我をするおそれがあります。

修理が必要な際は、必ず当社サポートセンターにお問い合わせください。

- 電池の液が漏れたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざける
- 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気づいたら使用しない。
異常に気づいたら、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店か当社サポートセンターに修理を依頼してください。
- 一般ごみ（不燃ごみ）と一緒に廃棄しない。
- 操作中および保管時の温度と湿度
温度が0℃（32°F）から40℃（104°F）の間（最大相対湿度90％）の場所で操作、または保管してください。
高温または低温状況ではバッテリー寿命が短くなることがあります。

充電電池について 本製品はリチウムイオン電池を使用しています。



危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない。
目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、皮膚に違和感がある場合は、医師の診療を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
- 火気に近づけたり、火の中に入れない。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない。
 - 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、また、極端に温度が低いところ。
 - ストープなどの熱源の近く。
 - 炎天下の車内。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。

電波について

2.4 FH 1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。

変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社サポートセンターまでお問い合わせください

2 お使いの イヤホン



クイックスタートガイド

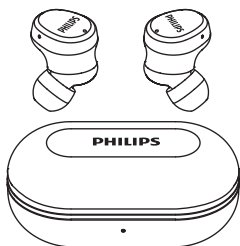
このイヤホンは、次のようにご利用いただけます：

- ・ 便利なワイヤレスハンズフリーでの通話を楽しめます。
- ・ ワイヤレスで音楽を楽しみながら操作できます。
- ・ 通話と音楽の切り替えができます。

その他のデバイス

Bluetoothに対応し、本製品(10ページ目の「製品仕様」を参照してください。)と互換性のあるスマートホンまたはデバイス(ノートパソコン、PDA、Bluetoothアダプター、MP3プレーヤーなど)。

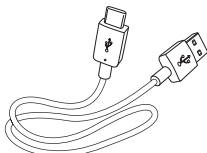
付属品



完全ワイヤレスイヤホン Philips
TAT4556

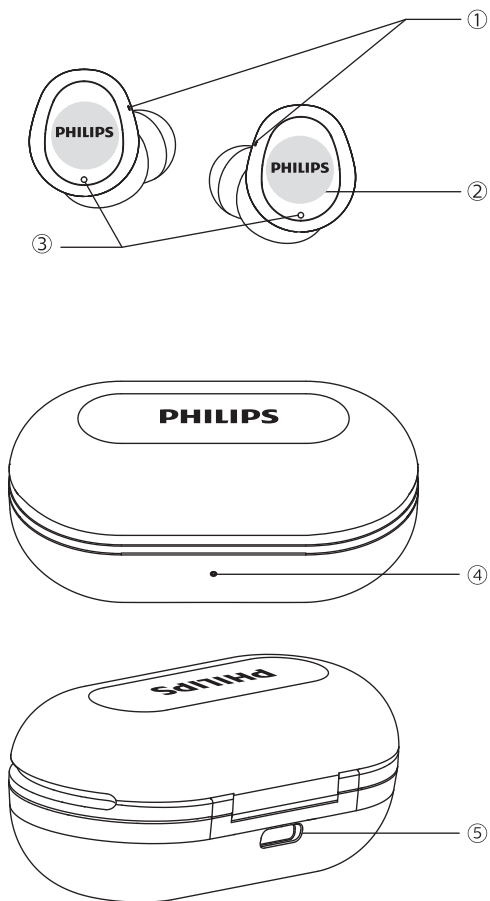


イヤークリップ x 3組



USB-C充電ケーブル(充電のみ)

製品概要



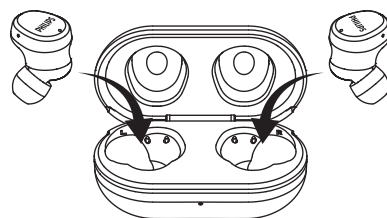
- ① LED表示(イヤープース)
- ② マルチファンクションボタン
- ③ マイク
- ④ LED表示(充電ケース)
- ⑤ USB充電スロット

3 はじめに

バッテリーの充電

≡ 注釈

- 初めてイヤークリップを使用する前に、イヤークリップを充電ケースに入れて2時間充電することで、バッテリーの容量と寿命を最適化します。
- 損傷を避けるため、本製品付属のUSB-C充電ケーブルのみ使用してください。
- イヤークリップを充電すると電源がオフになりますので、充電する前は通話を終了してください。



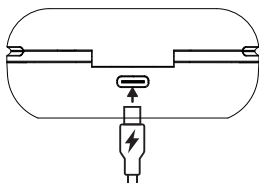
* ヒント

- 通常、(イヤークリップまたは充電ケースの)USBケーブルでの満充電は1.5時間かかります。

充電ケース

USBケーブルの一端を充電ケースに、もう一端をパソコンのUSBポート、もしくは市販の充電用アダプター (5V1A) に接続します。

- 充電ケースの充電が始まります。
- 充電状況は、充電ケースにある赤か白に光るLEDランプで確認できます。
 - LEDが消灯したら充電完了です。

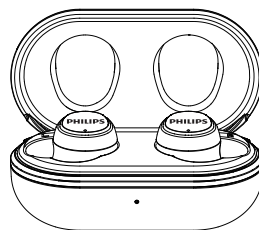


* ヒント

- 充電ケースは、イヤークリップを充電する携帯用バックアップバッテリーとして使えます。充電ケースが満充電の場合、イヤークリップを2.5回フル充電することができます。

初めて Bluetooth 対応機器をイヤークリップとペアリングする場合

- イヤークリップが満充電状態で、電源がオフになっていることを確認します。
- 充電ケースの蓋を開けてイヤークリップを取り出します。
ケースから取り出すとイヤークリップは自動的にペアリングモードになります。



- 左右のイヤークリップのLEDランプが白に点滅します。

- イヤークリップはペアリングモードになり、Bluetooth対応機器(例えばスマートホン)とペアリングする準備ができました。

イヤークリップ

イヤークリップを充電ケースに収納してください。

- イヤークリップの充電が始まります。
- 充電中はイヤークリップのLEDランプが赤に点灯します。
 - イヤークリップが満充電になると赤に点灯したランプが消灯します。

- Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- イヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングします。Bluetooth対応機器の取扱説明書を参照してください。

≡ 注釈

- イヤークリップの電源を入れると、自動的にペアリングモードに入り、最後にペアリングしたBluetooth対応機器に接続します。もし対応機器が検知できない場合、ペアリングモードをキープします。

次の例でイヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングする方法を示します。

- Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにして、**Philips TAT4556**を選択します。
- プロンプトが表示された場合、イヤークリップのパスワード「0000」（数字のゼロ四つ）を入力してください。Bluetooth 3.0以降を搭載したBluetooth対応機器の場合は、パスワードを入力する必要はありません。



Philips TAT4556

片耳イヤークリップ(モノラルモード)

片耳で使用する場合、充電ケースから左右どちらかのイヤークリップを取り出してください。自動的にイヤークリップの電源が入ります。

≡ 注釈

- 充電ケースから2番目のイヤークリップを取り出すと、イヤークリップ同士が自動的にペアリングされます。

イヤークリップを他のBluetooth対応機器とペアリングする場合

イヤークリップを別のBluetooth対応機器とペアリングする場合、まず以前ペアリングしたことがある、または接続したことがある他の機器のBluetooth機能がオフになっていることを確認します。あとは「イヤークリップを初めてBluetooth対応機器とペアリングする場合」の手順に従ってください。

≡ 注釈

- イヤークリップがメモリできる対応機器は10個までです。10個以上の対応機器とペアリングする場合、最初にペアリングされた対応機器が新しい対応機器に置き換わります。

4 イヤーピースの使い方

イヤーピースをお使いのBluetooth対応機器に接続する

- 1 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにします。
- 2 充電ケースの蓋開けてイヤーピースを取り出します。
 - ↳ LEDランプが赤に点滅します。
 - ↳ イヤーピースは最後に接続したBluetooth対応機器を検索し、自動的に再接続します。

✱ ヒント

- イヤーピースは一度に2つ以上の対応機器に接続することはできません。ペアリングされたBluetooth対応機器が2つある場合は、接続したい対応機器のBluetooth機能だけをオンにします。
- イヤーピースをオンにした1分後にお使いのBluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにした場合、対応機器のBluetoothメニューでイヤーピースを手動で接続する必要があります。

≡ 注釈

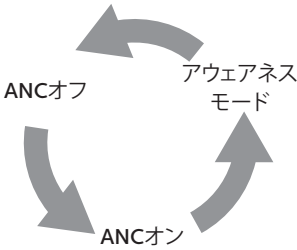
- 3分以内にイヤーピースがBluetooth対応機器に接続できない場合、バッテリーを節約するため自動的に電源がオフになります。
- 一部のBluetooth対応機器では、自動的接続が行われない場合があります。その場合、お使いの対応機器のBluetoothメニューに移動し、手動でイヤーピースを接続する必要があります。

ANCのコントロール(アクティブノイズキャンセリング)

ANCの有効化

右イヤーピースをダブルタップすることでいくつかのANCモードに切り替えることができます。

- イヤーピースの電源を入れた時、ANC機能はオフの状態になっています。
- 右のマルチファンクションボタンボタンを2回押すと、ANC機能がオンになります。
- 右のマルチファンクションボタンボタンをもう2回押すと、アウェアネスモードに切り替わります。
- 右のマルチファンクションボタンボタンをさらにもう2回押すと、ANC機能がオフになります。



タスク	マルチファンクションボタン	操作
ANCオン	右イヤーピース	ダブルタップ
アウェアネスモード	右イヤーピース	ダブルタップ
ANCオフ	右イヤーピース	ダブルタップ
クイックアウェアネスモード	左イヤーピース	ダブルタップ

ANC LED表示のステータス

ヘッドホン状態の表示		
ANCモードが切り替わります	LEDランプが2秒間赤に点灯します	

電源オン/オフ

タスク	多機能ボタン	操作
イヤーピース電源オン		イヤーピースを充電ケースから取り出すと電源がオンになる
イヤーピース電源オフ		イヤーピースを充電ケースに収納すると電源がオフになる

通話と音楽の管理

音楽のコントロール

タスク	多機能ボタン	操作
音楽の再生/一時停止	右イヤーピース	ビープ音がなるまで1秒押す
曲送り	右イヤーピース	3回タップする
曲戻し	左イヤーピース	3回タップする
音量の調節 +/-		スマートフォンで操作する

通話のコントロール

タスク	多機能ボタン	操作
応答する/通話中に通話相手を切り替える	右イヤーピース	ダブルタップ
電話を切る/着信拒否	右イヤーピース	1秒間押してから離す

充電ケース

充電ケースLED (USBオン)	表示
 40%	 LEDランプが赤色
 40%	 LEDランプが白色
	 LEDランプオフ

充電ケースLED (USBオン)	表示
 40%	 LEDランプが白色 (5秒)
 40%	 LEDランプが赤色 (5秒)

ヒント

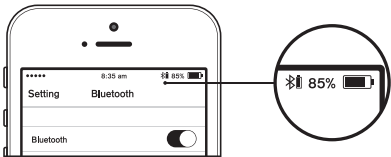
- USBケーブルに接続していない状態で充電ケースの蓋が開いた場合、LEDランプは5秒間点灯します。

LED表示のステータス

ヘッドホンのステータス	表示
イヤークーピーはBluetooth対応機器に接続されています。	LEDランプが5秒間に1回白色点滅
イヤークーピーのペアリングするスタンバイが来ています	LEDランプは1秒毎に白色点滅します
イヤークーピーがオンになっていますが、Bluetooth対応機器に接続されていません	LEDランプは1秒毎に白色点滅します
電池残量低下(イヤークーピー)	LEDランプが2回赤色点滅した後、5秒間に1回点滅します
充電完了(イヤークーピー)。	LEDランプ赤色消灯
充電完了(充電ケース)。	LEDオフ

Bluetooth対応機器のバッテリーLED表示

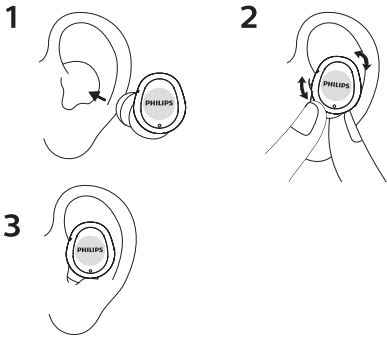
イヤークーピーに接続すると、Bluetooth対応機器上にバッテリーインジケータが表示されます。



音声アシスタント

タスク	ボタン	操作
トリガーボイス (Siri/Google) アシスタント	左イヤークーピー	2秒間長押しして離す
音声アシスタントの停止	左イヤークーピー	ワンタップ

装着方法



5 イヤーピース のリセット

ペアリングまたは接続に問題が発生した場合は、次の手順に従ってイヤーピースをリセットできます。

- 1 Bluetooth対応機器で、Bluetoothメニューに移動して、**Philips TAT4556**をデバイスリストから削除します。
- 2 Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオフにします。
- 3 イヤーピースを充電ケースに入れたまま、左右のイヤーピースにある多機能ボタンを8秒間長押しします。
- 4 イヤーピースを充電ケースから取り出して、イヤホンBluetooth対応機器とペアリングします。お使いのBluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにして、**Philips TAT4556**を選択します。

6 製品仕様

- 音楽再生時間 - ANC有効時:6時間 | ANC無効時:9時間
- 待機時間 - 100時間
- 充電時間:1.5時間
- リチウムイオン電池55mAh(各イヤーピース)、リチウムイオン電池500mAh(充電ケース)
- Bluetoothバージョン:5.2
- Bluetoothプロファイル:
 - HSP
 - HFP
 - A2DP
 - AVRCP
- サポートしているオーディオコーデック: SBC, AAC
- Bluetooth周波数範囲:2.402 ~ 2.480 GHz
- 伝送出力:11dBm未満
- 操作可能範囲:最大 10メートル
- 自動電源オフ
- 充電用USB-Cポート
- 電池残量低下警告:あり

注釈

- 仕様は予告なく変更されることがあります。

7 通知

適合宣言

これにより、MMD Hong Kong Holding Limitedは、この製品が指令2014/53/EUの必須要件及びその他の関連規定に適合していることを宣言します。この適合宣言は www.p4c.philips.com からアクセスできます。

使用済み製品とバッテリーの廃棄



本製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材料およびコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品にあるこの記号は、この製品が欧州指令2012/19/EUの対象であることを意味します。



この記号の意味は欧州指令2013/56/EUの適用を受ける内蔵充電式バッテリーで、一般廃棄物として廃棄できません。充電式バッテリーを専門業者に取り外してもらうべく、製品を正式な回収センターまたはフィリップスのサービスセンターに届けることを強くお勧めします。電気・電子製品と充電式バッテリーの地域別回収システムについてお知らせします。地域のルールに従い、一般廃棄物と一緒に本製品と充電式バッテリーを廃棄しないでください。古い製品や充電式バッテリーを適切に廃棄することで、環境や健康への悪影響を防ぐことができます。

EMFのコンプライアンス

本製品は、電磁界への曝露に関しては該当するすべての規格および規制に準拠しています。

環境情報

不要な梱包はなくなりました。段ボール(箱)、発泡スチロール(緩衝液)、ポリエチレン(袋、保護フォームシート)に分別しやすい梱包を心がけました。

本製品は、専門会社によって解体された場合リサイクルおよび再利用できる材料で作られています。梱包材料、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄については、各地域の条例に従ってください。

コンプライアンスに関するお知らせ

FCC 規則、パート15に準拠しています。操作は次の2つの条件にしたがって行われました：

1. このデバイスは有害ある干渉を引き起こすことはありません。
2. このデバイスは、あらゆる干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

FCC法規

本装置は、テスト上、FCC規則の15部に準拠するクラスBデジタル機器の限度に適合していることが分かりました。これらの制限は、住宅設備などに有害ある干渉がないように設計されています。

この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、マニュアルに従って取り付けや使用を行わないと、無線通信に有害ある干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件において、干渉が発生しないことは保証されません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害ある干渉を引き起こす場合は（装置の電源を入れたり切ったりすることで判別できます）、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

- ・ 受信アンテナの方向または場所を変えます。
- ・ 装置と受信機の距離を離します。
- ・ 装置は、受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続してください。
- ・ サポートについては、ディーラーまたは経験豊富な無線/TV技術者に相談してください。

FCCの放射線被曝に関する記述：

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCCの放射線被曝限度に適合しています。この送信機を他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

注意：法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性があるのでご注意ください。

カナダ：

このデバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省ライセンス免除 RSS に準拠するライセンス免除送信機/受信機が含まれます。操作は次の2つの条件にしたがって行われました：(1)このデバイスは有害ある干渉を引き起こすことはありません。(2)このデバイスは、あらゆる干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ICの放射線被曝に関する記述：

この装置は、管理されていない環境に対して定められたカナダの放射線被曝限度に適合しています。この送信機を他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

8 商標

Bluetooth

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited はライセンス契約に基づいてマークを使用しています。その他の商標および商標名は各所有者に帰属します。

9 よくあるご質問

イヤークピースの電源がオンになりません。
電池残量が少なくなっています。イヤークピースを充電してください。

イヤークピースとBluetooth対応機器とのペアリングができません。

Bluetoothが無効になっています。イヤークピースをオンにする前に、Bluetooth対応機器のBluetooth機能を有効にし、Bluetooth対応機器をオンにします。

ペアリングがうまくできません。

左右のイヤークピースを充電ケースに収納します。

以前接続したBluetooth対応機器のBluetooth機能が無効になっていることを確認します。

お使いのBluetooth対応機器で、Bluetoothリストから「Philips TAT4556」を削除します。

イヤークピースをペアリングします(5ページの「初めてイヤークピースをBluetooth対応機器とペアリングする場合」を参照してください)。

Bluetooth対応機器でイヤークピースを検知できません。

イヤークピースが以前ペアリングしたデバイスに接続されている場合があります。その接続されているデバイスの電源を切るか、電波の届かない場所に移動させてください。

ペアリングがリセットされたか、イヤークピースが別のデバイスとペアリングされている可能性があります。ユーザーマニュアルの説明にしたがって、イヤークピースをもう一度Bluetooth対応機器とペアリングしてください(5ページの「イヤークピースを初めてBluetooth対応機器とペアリングする場合」を参照)。

BluetoothヘッドセットをBluetoothステレオ対応のスマートホンに接続していますが、音楽はスマートホンのスピーカーからしか再生されません。

お使いのスマートホンの取扱説明書をご参照ください。ヘッドセットで音楽を聞くを選択してください。

音質が悪く、音飛びやノイズがあります。

Bluetooth対応機器が電波の届かない範囲にある可能性があります。イヤークピースとBluetooth対応機器の距離を短くするか、間にある障害物を排除します。イヤークピースを充電してください。

スマートホンからのストリーミングが非常に遅い場合、またはオーディオストリーミングがまったく機能しない場合、音質が低下します。

お使いのスマートホンが(mono) HSP/HFPだけでなく、A2DPにも対応しており、BT4.0x(または以上)と互換性があることを確認してください(10 ページ目の「製品仕様」を参照)。



PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limitedまたはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limitedが本製品に関する保証を担当します。

UM_TAT4556_00_JP_V1.0

